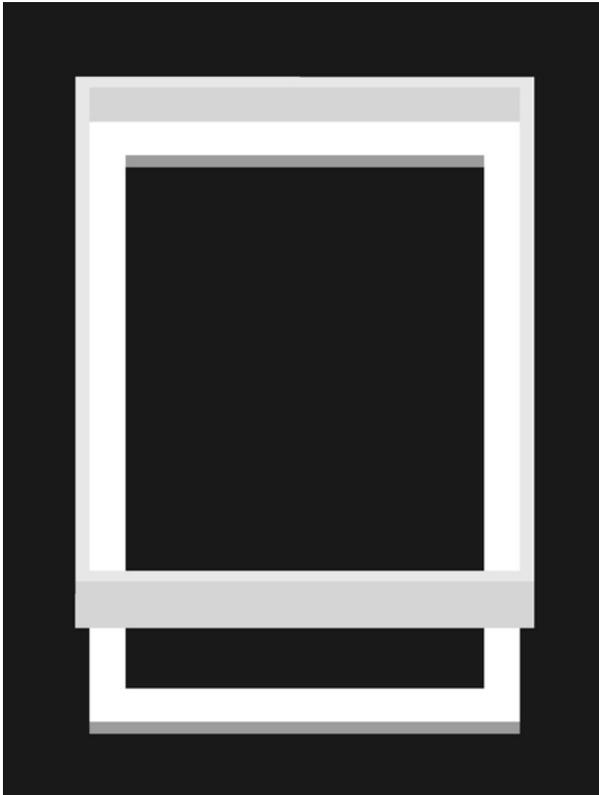


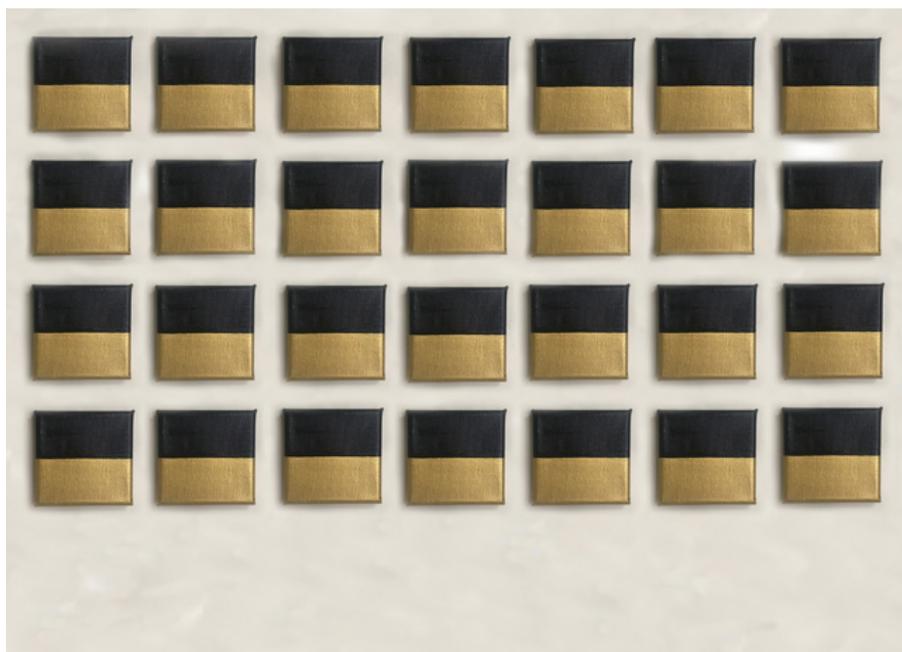
【展示作品】



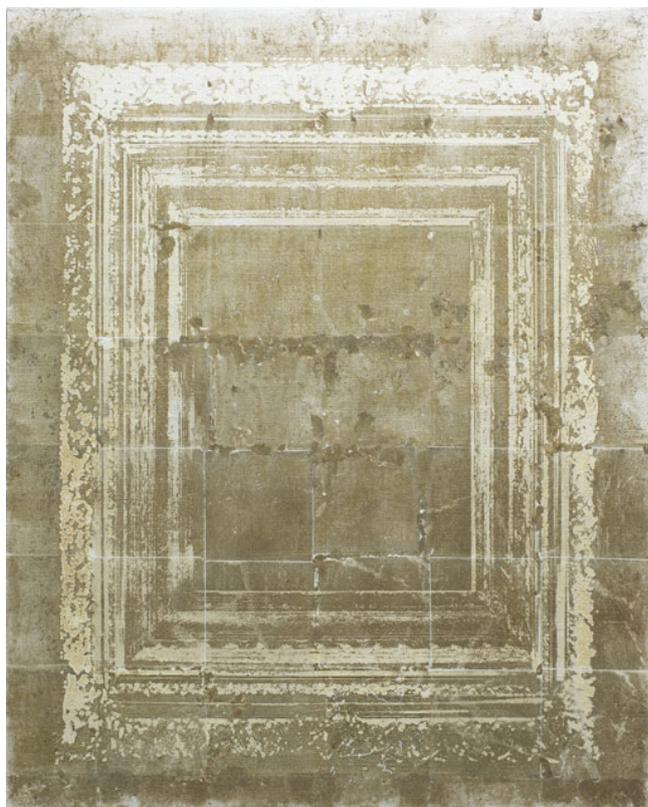
キム・ヒョングァン *Awning B&W3*
デジタルプリント 60×40cm 2015年



イ・ジュンヒョン *Out of Frame*
デジタルプリント (ビデオ作品より) 30×42cm 2015年



チャン・スジョン *Derive - 231.Moses*
油彩／キャンバス 10×10cm (28点組) 2020年



須貝 旭 *frame (since December 2018) No.2-C*
オイル、アクリルメディウム、銀箔／麻布 91×72.7cm 2018年

【作家略歴】

キム・ヒョンガン Hyungwan Kim

キム・ヒョンガンは建築的な構造や要素をベースに、空間認識にまつわる作品を制作しています。コンピュータードローイングによって描かれるその作品は、現実と想像との境界線を曖昧にし、融合させます。

- 1970 ソウル生まれ
- 1995 ソウル大学美術学部卒業
- 1998 ソウル大学大学院修士課程修了
- 2006 ゴールドスミスカレッジ（ロンドン）修士号取得（美術）
- 現在、ソウル在住

主な個展

- 1996 「Drawings and Photographs」 Yoon Gallery（ソウル）
- 2004 「Void of Representation」 Hanjun Plaza Gallery（ソウル）
- 2007 「Long Slow Distance」 Toilet Gallery（ロンドン）
「Long Slow Distance」 Gallery Soso（パジュ）
「FOUR PAINTINGS」 sadi Window Gallery（ソウル）
- 2008 「Long Slow Distance」 Gallery Noon（ソウル）
「Long Slow Distance」 Korea Art Center（プサン）
- 2009 「Afterglow」 Gallery Soso（パジュ）
- 2010 「Long Slow Distance」 Vit Gallery（ソウル）
「Long Slow Distance」 Gallery Bora（ソウル）
- 2012 「LIGHTHOUSE」 Gallery Soso（パジュ）
- 2014 「LINEHOUSE」 UNC Gallery（ソウル）
- 2015 「WINDOWS」 Gallery Royal（ソウル）
- 2017 「BRUSH PAST」 Tpong-in Auction Gallery（ソウル）

主なグループ展

- 1998 「Young Korean Artists 98」 韓国国立現代美術館（韓国クアチョン）
「The Retina and The Sense of Touch」 DongA Gallery（ソウル）
- 1999 「21C New Frontier」 Samsung Plaza Gallery（ソナム）
「Korean Contemporary Art-Trends in the 90s」 Ellen Kim Murphy Galley（ソウル）
- 2002 「Inter Project-Symbiosis」 インチョン文化センター（インチョン）
「Private Narratives」 プサン現代美術館（プサン）
- 2004 「Still-Life」 イルミン美術館（ソウル）
- 2006 「Degree Show」 ゴールドスミスカレッジ（ロンドン）
「Zenith 06」 Nomoregrey Gallery（ロンドン）

- 「George Polke Invites」 George Polke Gallery (ロンドン)
「Still Dynamics」 Jerwood Space Gallery (ロンドン)
「Nocturnal」 Sarah Myerscough Gallery (ロンドン)
2009 「Artist Gallery - Fleeting」 ソウル大学美術館 (ソウル)
「Drawing of the world」 world of drawing」 ソウル大学美術館 (ソウル)
「Emotional Landscape」 Pocheon Art Valley (ポチョン)
2012 「Tagging Art Works」 キョンギ道美術館 (アンサン)

作品収蔵

- プサン現代美術館 (プサン)
キョンギ道美術館 (アンサン)
韓国国立現代美術館 (クアチョン)

イ・ジュンヒョン

Joonhyung Lee

イ・ジュンヒョンは、絵画や立体、ビデオなど、様々なメディアを駆使するアーティストです。その作品は、私たち人間の認知、感情、経験などをテーマに、その限界点を明らかにし、隠し、ズラし、あるいは拡張させることを試んでいます。

- 1976 ソウル生まれ
 - 2002 ソウル大学美術学部卒業
 - 2006 ロンドン芸術大学セントラル・セント・マーチンズ（ロンドン）修士号取得（美術）
 - 2016 ソウル大学大学院博士号取得（美術）
- 現在、ソウル在住

主な個展

- 2002 「There is no sun」 Gallery La Mer（ソウル）
- 2004 「Dog Project」 Enprini Avenue（ソウル）
- 2009 「Chapter 11」 Corner Gallery（ソウル）
- 2010 「MADE IN HEAVEN」 Space of Art etc（ソウル）など
- 2011 「Joon Hyung Lee Show」 ソウル大学 Woosuck Hall（ソウル）
- 2012 「Joon Hyung Lee Show」 Eugean Gallery,（ソウル）
- 2013 「It is that」 Space of Art etc（ソウル）
- 2014 「Brave New World」 Void Gallery（ソウル）
- 2015 「Out of Frame」 Space O'NewWall（ソウル）
- 2016 「Out of Frame」 space xx（ソウル）
- 2017 「Out of Frame」 Gallery 644（ソウル）
- 2018 「Brave New World」 Art Delight（ソウル）

主なグループ展

- 2006 「Still Dynamics」 Jerwood Space（ロンドン）
「Quick and Dirty」 Barge House（ロンドン）
- 2008 「In my shoes」 Gallery Factory（ソウル）
「HyoHyo no Hyoi」 韓国総領事館（大阪）
- 2011 「Color Ball」 powerless gallery（ソウル）
「face+face+face」 Space of Art etc（ソウル）
「Fantasy」 HanJeon Art Gallery（ソウル）
- 2012 「Two person's show」 Eugean Gallery（ソウル）
「Portrait」 O-Jaemi Dong Gallery（ソウル）
- 2013 「35th JOONANG Fine Art Prize」 ソウルアーツセンター（ソウル）
「The public's Extended」 Culture Station Seoul 284（ソウル）

- 2015 「mindful mindless」 SOMA Museum of Art (ソウル)
- 2018 「Art and Labor」 ソウル大学美術館 (ソウル)
- 2019 「LIES」 ソウル大学美術館 (ソウル)

受賞

- 2010 「なよろ国際雪像彫刻大会」 第2位 (名寄)
- 2012 「SeMA Selected Emerging Artist」 ソウル市立美術館 (ソウル)
- 2013 「35th JoonAng Fine Art Prize」 (ソウル)

アーティストインレジデンス

- 2012 「Artist Registry Program」 SOMA Museum of Art Drawing Center (ソウル)

チャン・スジョン

Soojong Jang

チャン・スジョンの作品は、私たちの日常生活の中にある「闘」の領域に対する関心がベースとなっています。現代の都市社会の価値構造に目を向け、普段は目につかないような周縁の現象に光を当てます。

- 1976 ソウル生まれ
2005 サリー・インスティテュート・オブ・アート&デザイン（英国フアーナム）学士号取得（美術）
2014 ヨンセ（延世）大学コミュニケーション大学院（ソウル）修士号取得（メディアアート）
現在、ソウル在住

主な個展

- 2016 「Zero Point」 Dari Gallery（チェジュ）
2017 「Escape」 Art Busan（プサン）
2018 「Shadow Mirror」 Union Art Fair（ソウル）
2019 「Spatial Inquiries - Dialogue」 Selo Arts Space（ソウル）

主なグループ展

- 2012 「Void」 Selo Arts Space（ソウル）
2013 「Heritage 600 Tomorrow 600」 ゴヤン・アラムヌリ美術館（ゴヤン）
2016 「Non Place」 Gallery Toast（ソウル）
2018 「Prompt」 Selo Arts Space（ソウル）
2019 「Mirage」 Instant Garden（ソウル）
「Aporia」 Space Ba（ソウル）
「4482」 Selo Arts Space（ソウル）
「Dialogue」 Selo Arts Space（ソウル）
「Exchange」 Corner Gallery（ソウル）

助成

- 2002 「Summer Portfolio Grant」 アカデミー・オブ・アート大学（サンフランシスコ）

須貝 旭**Asahi Sugai**

須貝旭は銀箔やオイル、硫黄、尿素といった物質を用いた絵画作品の制作に取り組んでいます。化学反応によって状態が変化し続けることを前提としたその作品は、美術における「永続性」や「完成」といった概念を揺り動かします。

- 1990 兵庫生まれ
2014 愛知県立芸術大学美術学部油画専攻卒業
2016 愛知県立芸術大学大学院美術研究科博士前期課程油画・版画領域修了
2017 タフツ大学付属ボストン美術館スクール客員研修生
現在、愛知在住

主な個展

- 2017 「e・g・g・o 0059 須貝旭展」大雅堂（京都）
2019 「これから来る過去、通り過ぎた未来、おぼろげな今」ギャラリーヴァール（名古屋）

主なグループ展

- 2012 「ながくて芸術団 2012」山本邸（長久手）
2013 「プレプレ展」市民ギャラリー矢田（名古屋）
2014 「Cubic Museum」シラパコーン大学アートギャラリー（バンコク）
「Parallel Hexagon」ギャラリーくさ笛（名古屋）
「-2014」愛知県立芸術大学芸術資料館（愛知）
2015 「日タイ美術学生交流展」チェンマイ大学美術学部ギャラリー（チェンマイ）
2016 「物質としての絵画」瞻百堂画廊（東京）
「視界に満ちる海」同時代ギャラリー（京都）
「技法変態」愛知県立芸術大学サテライトギャラリー（名古屋）
2017 「美大生展」SEZON ART GALLERY（東京）
「Arts in Bunkacho ～トキメキが、爆発だ～」文化庁パブリックスペース（東京）
「Kissing the Wall」タフツ大学付属ボストン美術館スクール（ボストン）
「The Drawn World」タフツ大学付属ボストン美術館スクール（ボストン）

受賞／助成

- 2015 「第30回ホルベインスカラシップ」ホルベイン画材株式会社（大阪）
2016 「平成28年度奨学生」公益財団法人堀田育英財団（大阪）
「Dアート賞」公益財団法人堀科学芸術振興財団（名古屋）

アーティストインレジデンス

- 2014 シラパコーン大学（バンコク）
2019 AGA LAB（アムステルダム）